

# 再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：下保 修

事業名	一般国道331号 <small>ふたみ</small> 二見バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	沖縄県						
起終点	自：沖縄県名護市二見 至：沖縄県名護市大浦			延長	2.3km							
事業概要	現況の国道331号二見地区は急カーブ区間が多く、また縦断勾配も急な箇所が多いことから、交通安全上危険な状況であり、集中豪雨等異常気象時には災害の発生により交通規制も行われており、本島北部東海岸地域の活性化に支障をきたしている状況である。このような状況を改善するため、バイパス事業を行っているものである。											
H2年度事業化			H2年度用地着手	H3年度工事着手								
全体事業費	100億円	事業進捗率	93%	供用済延長	0.82km							
計画交通量	4,900台/日											
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1  (残事業) 7.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 19/127億円 事業費：17/125億円 維持管理費：2.0/2.0億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 135/135億円 走行時間短縮便益：126/126億円 走行経費減少便益：7.0/7.0億円 交通事故減少便益：2.0/2.0億円	基準年	平成19年							
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑なモビリティの確保（現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する。）</li> <li>個性有る地域の形成（那覇空港からカヌチャリゾートまで約4分短縮） <span style="float:right">他4項目に該当</span></li> </ul>											
関係する地方公共団体等の意見	平成18年度沖縄県・市町村行政連絡会議において、早期整備の要望が提出されている。											
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成9年にカヌチャリゾートがオープンし、その影響により観光客のレンタカー利用が増加している。											
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成19年3月末で事業費ベースでの進捗率が93%である。平成20年度はトンネル1基の整備とともに、改良工事の促進を図る。											
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋梁箇所（2箇所）について、用地及び補償交渉が難航した。</li> <li>平成21年度までに全線の供用開始を図る。</li> </ul>											
施設の構造や工法の変更等	橋梁（1箇所）、トンネル（1箇所）の歩道幅員を縮小した。（3m→2m）											
対応方針	事業継続											
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考える。											
事業概要図												
凡例	<table border="1"> <tr> <td>供用中</td> <td>———</td> </tr> <tr> <td>再評価対象事業</td> <td>.....</td> </tr> <tr> <td>うち供用中</td> <td>———</td> </tr> </table>						供用中	———	再評価対象事業	.....	うち供用中	———
供用中	———											
再評価対象事業	.....											
うち供用中	———											